

この説明書は本剤とともに保管し、服用に際しては必ずお読みください。

漢方薬局 旺樹の杜 当帰四逆湯

当帰四逆湯は、「傷寒論」を原典とする、しもやけ、下腹部痛、腰痛、下痢、月経痛、冷え症に用いられる漢方薬です。

してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

次の人は服用しないでください

生後3カ月未満の乳児。

相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 胃腸の弱い人。(4) 高齢者。(5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。むくみ (7) 次の診断を受けた人。高血圧、心臓病、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 1カ月位（下腹部痛、下痢に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

4. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください

効能・効果

体力中等度以下で、手足の冷え下腹部が痛くなりやすいものの次の諸症：しもやけ、下腹部痛、腰痛、下痢、月経痛、冷え症

成分と分量

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

成 分	トウキ	ケイヒ	シャクヤク	モクツウ	サイシン	カンゾウ	タイソウ
分 量	3.0g	3.0g	3.0g	3.0g	2.0g	2.0g	5.0g

用法・用量

本品1包に、水約500mL を加えて、半量ぐらいまで煎じつめ、煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。

上記は大人の1日量です。

年 齢	大人（15才以上）	14才～7才	6才～4才	3才～2才	2才未満	3カ月未満
服用量	上記の通り	大人の2/3	大人の1/2	大人の1/3	大人の1/4以下	服用しないこと
1日服用回数	3回					

＜用法・用量に関連する注意＞

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。
- (4) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。
- (5) 本剤は必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください。
- (5) 生薬を原料として製造していますので、製品の色や味等に多少の差異を生じることがあります。

その他

医薬品副作用被害救済制度に関するお問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html> 電話 0120-149-931（フリーダイヤル）